



9月21日(木) ちよだパークサイドプラザにて、令和5年度第2回理事会が開催されました。(理事25名参加)

○開会のことば

1. 会長挨拶 (橋本会長)
2. 園長会挨拶 (鳥居園長会副会長)
3. 都幼P役員活動報告
 - ・次第の裏面に記載してあります。
4. 全幼P全国大会について

(八木田副会長)

記念講演は、九州自然動物公園アフリカンサファリの園長で獣医師の神田岳委さん。講演は、参加者に質問を投げ掛け、対話をしながら始まりました。お話がとても上手な方で、和やかに楽しく話を進め、会場の一体感を感じました。

内容としては、『生まれたての赤ちゃんは、動物でも人間でもみんな同じ匂い(よい匂い)がする』という、はじめて聞くビックリする話や、『動物は痛いと言わない。むしろ我慢して隠す。そんな異変に気付くのが飼育員。子ども(赤ちゃん)の異変に気付くのは親』という、飼育と子育ての共通点を感じる話や、『飼育とは、飼うだけでなく飼って育むこと。教育とは、教えるだけでなく教えて育むこと。育むことは大事・大切だが、本当に難しいこと』という、答えのないことと向き合うことの大変さや、育むことの尊さを感じるお話でした。

提案発表では、京都府・佐賀県・宮崎県の幼稚園が、PTAの取り組みについて発表しました。

- ・京都府の京都教育大学附属幼稚園では、園庭にあるイチョウの木に実った銀杏を園児が拾い、5歳児がギンナン屋さんを開いているそうです。ギンナン屋さん(園児)はお客さん(保護者)に販売。この時、本物のお金でやり取りをしていて、園児は売り上げを副園長銀行に預けるとのこと。この活動は、子どもたちの金銭教育に繋がっています。ギンナンの売上金は、飼育物のゲージ購入や募金にあてられているそうです。
- ・佐賀県の吉野ヶ里町立東脊振幼稚園では、コロナ禍に於いてこれまでと異なる生活様式で生活を送る子どもたちに笑顔をと、『スマイルプロジェクト』を実行。「写真を撮れば笑顔になれるはず！」と考え、写真コンクールを開催したそうです。笑顔になるお気に入りの1枚を応募いただき、集まった作品はみんなが閲覧できるように展示。みんなが無理なく参加できて笑顔になれる、素敵な取り組みだと思いました。
- ・宮崎県の三郷町立西郷幼稚園は、義務教育学校との一体型幼稚園という特徴があります。PTAも、幼稚園と義務教育学校を一つの組織として構成され活動していて、その内容が資料にまとめられていますが、今回、提案発表者は、資料に沿った話ではなく、資料には載っていない提案発表者個人の経験や思いをお話されました。4歳~15歳の子が、行事だけでなく日常的に交流しており、園児たちは優しいお兄さん・お姉さんの姿を間近で見ている。「あんなお兄さん・お姉さんになりたい！」と思っていることや、PTAの親睦を深める玉入れ大会は仮装などして自分が楽しんでいることを、明るい声で話されていました。

他に、「三郷の学校・教育が大好き!」「子どもが巣立った後、『三郷に戻ってもいいな』と思ってもらえるように、大人は活動をしていく」という気持ちをはっきりと言葉にして私たちに伝えてくれました。

皆さんにも会場での雰囲気や空気感も込みで参加していただきたいと思うような、楽しくて気付きのある大会でした。

(初澤副会長)

私は、今回対面の全国大会に参加したのは初めてでした。今回の大分大会は、4年ぶりの対面開催でした。

行ってみて一番によかったのは、全幼Pがどのような役割を果たそうと考えて運営されているのか、何を狙っているのかということが感覚的に理解できたということです。

何を狙っているかについては、一言でいえば、幼児教育の充実です。

運営に関して、各加入会員、園から一律に全幼Pに納入されているお金がいったい何の役に立っているのかというのは、最も気になる場所だと思います。また、何のために全国大会をやっているのかと疑問をもつ方も少なくはないかもしれません。

百聞は一見に如かずといいますが、同じ目的のために、日本各地から、幼児教育の充実のためになにかしらの貢献をする人が連なっていると実感しました。

具体的な活動として知ることができたのは、政策提言活動です。

今まで、毎年、文科省などに全幼Pが要望書を出していることは知っていましたが、今年、全幼P会長が文部科学大臣に直接会って、幼児教育の重要性を伝える機会をもったというお話が会長からありました。

もしかしたら、こんな豊かな日本で、幼児教育を公的な資金を使って、公立幼稚園が長年運営されているというのは当たり前だと思うかもしれませんが、義務教育ではないので、いかに多くの国民が幼児教育を大切だと考えているということが政策決定する側に伝わっていなければ続かないことだと思います。

こういう地道な政策提言活動が私たちの公立幼稚園・こども園を保持することにつながっているのはいうまでもありません。

政策提言活動は、すぐに目に見える結果が生まれるということとはもしかして稀で、自分たちのお子さんたちが在園しているときに、即、会員にとって有益なことがあるということより、未来への投資という側面があると思います。しかし、過去をさかのぼれば、私たちの先輩方がこのような投資をしてきてくれたおかげで今があるということも言えると思います。

そんな流れを感じ取ることができたことが、私にとっては全国大会に参加してよかったと思えたことです。

・会計報告

資料の会計報告書をご確認ください。

・優良PTA 文部科学大臣表彰

千代田区立九段幼稚園さつき会 様

港区立にじのはし幼稚園PTA 様

・PTA 活動振興功労者表彰

前都幼P会長 中島 聡 様

全国大会において表彰が行われました。おめでとうございます。

5. 全幼P 令和5年度要望書について(橋本会長)

全幼Pでは、毎年要望書を文部科学大臣・副大臣・関係各局に直接提出しています。そして公立幼稚園・こども園の大切さや必要性を伝えているそうです。こちらは毎年その年の情勢にあった内容をアップデートしております。

また都幼Pとしては東京都と連携を取り、年に5~6回ほど幼稚園・小学校・中学校・高校それぞれのPTA連合会とともに東京都と意見交換会を行っております。こちらでも皆様からいただいた公立幼稚園・こども園の現状を情報共有させていただいております。

6. 都幼P 親子フェスタ! ~のびのびキッズ大集合~について (江東区)

・開催日 令和5年11月19日(日)

・会場 江東区立第一亀戸小学校 体育館

・内容

ふれあい研修会「森のつみ木広場」

森林を使い、森林を守る by OISCA (オイスカ)

・申込期間 9月25日~10月15日(日)まで(定員に達し次第、締め切り)

・申込み方法 Googleフォームから各自申込。11月12日(日)までに参加票と当日のご案内をメールにて送信いたします。

・先着順(各回親子50組×2回、合計100組)で受付ます。一回目の開会式時のみ、体育館後方にて、預かり保育があります。

- ・昨年度から都幼Pの方でも紙面配布の削減を進めており、チラシなども紙では配布せず各園にデータで理事宛に送ります。

7. 東京都幼稚園・こども園 PTA リーダー研修会について（中央区）

- ・開催日 令和5年12月11日(月)10:00~12:00

「歌で育む豊かな心(仮)」

- ・講師 神崎 ゆう子氏
- ・会場 銀座ブロッサム

絵本シネマというテーマで絵本と歌と朗読と動画の披露をしていただきます。
会場はとても広く、たくさんの方にお越しいただけますので、皆様ふるってご参加いただければと思います。
10月上旬に、あらためてご案内をお送りできるかと思えます。よろしく願いいたします。

8. 東京都幼小中高 PTA リーダー合同研修会について（板橋区）橋本会長

議題5. で都幼Pは、東京都と連携をとっているとご説明しましたが、リーダー研修会もその一環でこちらは東京都教育委員会の事業委託となります。

- ・開催日 令和5年11月25日(土)14:00~16:00

「アンガーマネジメント」

- ・講師 富田 和己氏
- ・会場 対面開催(渋谷駅1分ほどの会場※会場名は分かり次第連絡いたします)

板橋区の学校にて校長先生をされており、アンガーマネジメントについてご講演いただきます。
ご興味のある方はぜひご参加ください。

9. その他

理事メールにて「都幼Pだより」他、本日の資料をお送りしますのでご確認ください。

10. 情報交換

「区幼Pについて(頻度、活動内容など)」「各園、各区のIT化について」
3チームに分かれ、意見交換・情報交換を行いました。

※次回理事会開催について

「第3回理事会」 令和5年12月14日(木)10時~11時30分 ちよだパークサイドプラザ7階会議室
オンラインへの変更の場合は、あらためてお知らせいたします。